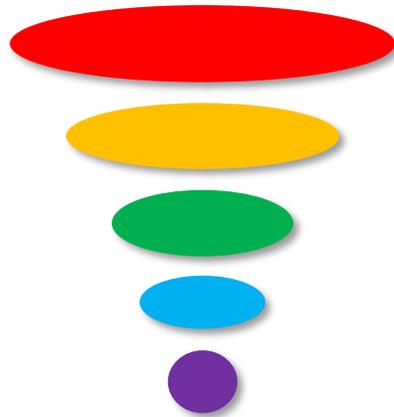


次世代シニア 楽しみの時層



新連載

◎公益財団法人ハイライフ研究所では、平成二十八年、次世代高齢者研究の一環として50代から70代前半（昭和16年～昭和40年生まれ）の男女を対象に生活行動、生活意識調査を実施、その調査結果に研究員の視点を交え「次世代シニア」と現在形シニア、その意識と行動」と題したコラムを連載してまいりました。

その続編ともいえる今回のシリーズは、同調査で自由回答形式にて収集した「人生の各時期の楽しみの生活史」を「時層」と名づけた上で、次世代シニアにみる「世代の共通体験や個人史」に焦点を当てそこから培われた価値観や幸福観を探ってまいります。2020年を過ぎる頃から高齢者の仲間入りする次世代シニアの「時層」から浮かび上がる現在形シニアとの違いにも注目してまいります。

▼次世代シニアと現在形シニアの定義

①次世代シニア

1956年～1965年生まれ（調査時51～60歳）

②現在形シニア

1941年～1950年生まれ（調査時66～75歳）

▼前の連載同様「仮説的」な読み解きや、「一生活者」として感じた生きるためのヒントなども添えていきたいと考えています。ぜひ「一読下さい」。

公益財団法人ハイライフ研究所

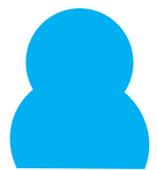
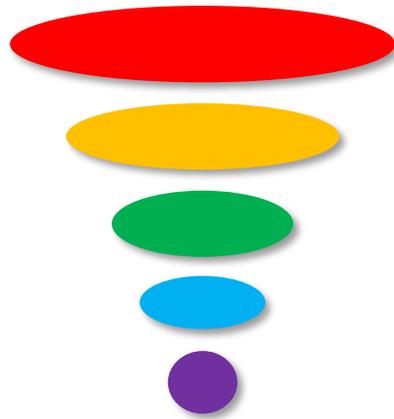
<ハイライフ研究所「次世代高齢者調査」調査概要>

①調査対象 東京30km圏に居住する満51歳～75歳の男女

②標本数(有効回収数)500 51～55歳・56～60歳・61～65歳・66～70歳・71～75歳 男女計各100

③標本抽出法 エリアサンプリング法 ④調査方法 留置法(訪問調査) ⑤調査時期 平成28年10月～11月

次世代シニア 楽しみの時層



第1回
エンタメで辿る
「楽しみの時層」

第一回 エンタメで迎える「楽しみの時層」

連載の第一回冒頭では表題の内容に入る前に、前提となる生活者調査の概要、使われる言葉の定義、問題認識の在り処、連載のおおまかな流れなどをご説明し、ご理解いただいた上で第一回の本題へと入ってまいりたいと思います。なお、公益財団法人ハイライフ研究所の「次世代高齢者研究報告書・変化し続ける高齢者意識の研究」も一読いただければ幸いです。

序「次世代シニア、楽しみの時層」とは何か、そもそも何を試みようとしているのか。

公益財団法人ハイライフ研究所では、平成28年に次世代高齢者研究の一環として50代から70代前半の男女（昭和16年～昭和40年生まれ）を対象に生活行動、生活意識調査を下記要領にて実施いたしました。

＜ハイライフ研究所「次世代高齢者調査」調査概要＞

- ①調査対象 東京30km圏に居住する満51歳～75歳の男女
- ②標本数(有効回収数)500 51～55歳・56～60歳・61～65歳・66～70歳・71～75歳 男女計各100
- ③標本抽出法 エリアサンプリング法 ④調査方法 留置法(訪問調査) ⑤調査時期 平成28年10月～11月

近い将来の高齢者の変化を捉えるために、概ね人生の後半戦に突入し、老後といった意識や取り組みを現実のものとして考え始める50代を「次世代シニア」、既に高齢者層に属する団塊世代と戦中生まれ世代（60代後半から70代前半）を「現在形シニア」と名付け、その違いをみてまいりました。その際、選択肢で答える約100項目の調査とは別に、調査対象者500人に過去を振り返ってもらい「楽しかったこと・好きだったこと・夢中になっていたこと」を①ファッション②エンターテインメント③趣味・スポーツ・旅行④食べ物・飲み物・飲食店⑤街・ショップ・施設の5分野について、「10代」「20・30代」「40・50代」「60・70代」四つの時代に分け、現在に至る年代まで自由回答形式で記入してもらいました。

狙いは「世代の共通体験・楽しみ在生活史、そこから培われた価値観などから次世代シニアの今後の在り方を考察する」ことにあります。今シリーズの試みもその一環。「楽しみ在生活史」は『時層(じそう)』と名付けました。時の流れとともに堆積してきた地層の中には土砂のほか、化石や様々な生物の痕跡があります。人が積み重ねる「時の層」は、その人を形作り、その中に現在、未来につながる楽しさの原石が潜んでいる、といった意味合いで名付けたものです。「現在形シニア」とも対比しながらみていきたいと思ひます。

シリーズの前半では自由回答の結果を元に「分野ごとの楽しみ在生活史にみる世代の特徴」に焦点をあて、後半では「n1=標本1の『楽しみ在生活史』と、家族、仕事、人付き合いなどに関する現在の意識とを照合」しながら世代のパーソナリティを事例として浮き彫りにする内容を予定しております。

また、皆さまご自身が「楽しみ在生活史」を確認していただけるよう、この回の最後に記入用紙も添えさせていただきます。お読みいただいた後にぜひご活用下さい。

□調査対象のうち「次世代シニア」と「現在形シニア」の誕生日

「次世代シニア」1956年～1965年生まれ 「現在形シニア」1941年～1950年生まれ

＜次世代高齢者調査・自由回答票の記入サンプル＞

◎ あなたの人生を振り返って、下にあげた5つのジャンルについて「楽しかったこと・好きだったこと・夢中になっていたこと」を自由にお答えください。

(注1) なるべく短い文章や単語で簡潔にご記入ください。

(注2) 全ての欄を埋める必要はありません。印象的なことだけをその印象的だったジャンルの年代の欄にご記入いただければ結構です。

(注3) ご記入いただいたこの用紙は、別途お選した「日常生活や現在の生活に関するアンケート」と一緒に後りの者にお返しください。

＜年代＞	10代の頃	20代～30代の頃	40代～50代の頃	60代～70代の頃
＜ジャンル＞				
ファッションブランド スタイル	ニッポン ジーパン	パルコ フイチ ミチコ、ジョンコ	ユニクロ 3体オン	
エンターテインメント 音楽、芸能、映画 テレビ番組、ラジオ番組 雑誌、他	おひさま おひさま おひさま おひさま おひさま	松田聖子 ザ・ベストテン	エンタの神様 がきつつかく笑ってはいけない	
趣味、娯楽 スポーツ、旅行	魚釣り(川釣り) 木トバイ バレーボール	魚釣り(海釣り) 自転車	魚釣り(海釣り) 家族旅行(温泉)	
食べ物、飲み物 食事、飲食店	コーラ、ファンコ 魚焼肉	ビーフ、バーボン モツ焼き スナック(餃子屋)	第3のビール、ハイボール レバ刺 食べ放題の店	
街、ショップ、施設	ゲームセンター ディスコ(新編)	ディスコ-ランド ディスコ(ホホホ)	新幹線ショップ コストコ	



第1回は「エンタメ（エンターテインメント）の時層」です。調査票では「音楽、芸能、映画、テレビ番組、ラジオ番組、雑誌、他」と対象となる分野を補足しました。「エンターテインメント」に関する回答率と回答者中にみる年齢区分ごと（「10代」等）の記入率（何かしら記入）は、下記の通りです。

■回答率(n=各100)と年齢区分別記入率(n=各属性の回答者)

	次世代シニア・男性 (74%)	次世代シニア・女性 (88%)	現在形シニア・男性 (80%)	現在形シニア・女性 (91%)
「10代」	90.5%	89.8%	65.0%	69.2%
「20・30代」	85.1%	77.3%	83.7%	79.1%
「40・50代」	75.7%	84.1%	63.8%	68.1%
「60・70代」	-	-	58.8%	67.0%

年齢区分別記入率を属性別にみると、次世代シニア男・女では「10代」の記入率が高く、現在形シニア男・女では「20・30代」の記入率が高くなっています。現在から過去を振り返る際の遠近差がそうさせるのか、時代背景や世代の特徴かはわかりませんが興味深いところではあります。

今回は「エンターテインメント」の中から「音楽」と「映画・番組・上演」関連の「楽しみの時層」を取上げてまいります。まず、分析表の見方とその留意点をご説明いたします。

<表の見方>

- ①「10代の頃」「20・30代の頃」など年齢区分ごとに過去をふりかえりテーマに即して記入されたワード(人名・作品名など)を属性別に記載した表です。
- ②出現したワードは記入人数に関わらず記録しました。矢印部分の定義は以下の通りです。
赤い矢印：「10代」で出現し、他の年代区分でも出現したことを示す。
薄青矢印：一度出現したものが、次の年齢区分では出現せずその後また復活した場合の空白期間を示す。
橙色矢印：「20・30代」で初めて出現し、他の年代区分でも出現したことを示す。
紫色矢印：「40・50代」で初めて出現し、次の年齢区分でも出現したことを示す。
- ③留意点
・各年齢区分の同じ行にあるもの同士の代替関係はありません。新たに出現したもので空欄を埋める形式となります。
・また矢印で示されたものは、「個人の中で継続しているもの」「別の人が新たに取上げたもの」が混在しています。
この点を精緻化するには標本数が少ないこと、過去を辿って自由に回答してもらうことを優先したため記入方法の細かな指定をしていないことも理由に挙げられますが、「世代の共通体験や特徴を把握するには充分」であると判断しております。「強い記憶に残る好きだったものが何なのか」、世代の時層を辿る年表としてご覧下さい。

(表のサンプル)

現在形シニア・男性	10代	20・30代	40・50代	60・70代
(テレビ)プロ野球・スポーツ中継	→	→	→	→
(テレビ)歌番組	→	→	→	→
(テレビ)大河ドラマ	→	→	→	(テレビ)朝ドラ
(テレビ)プロレス中継	→	→	(テレビ)ゴルフ・競馬中継	→
(映画)石原裕次郎もの	→	→	(テレビ)笑点	→
(映画)任侠もの	→	→	(テレビ)相撲	→
(映画)007シリーズ	→	→	(ラジオ)大沢悠里のゆうゆうワイド	→
(映画)西部劇(シェーン他)	→	→	(テレビ)科捜研の女	(テレビ)ドクターX
(映画)日本映画・洋画	→	→	(テレビ)はぐれ刑事	(テレビ)韓国ドラマ
(テレビ)相撲中継	→	→	→	→
(映画)時代劇・チャンバラ	→	→	→	→
(テレビ)米国ドラマ	(テレビ)日本のドラマ	→	→	→
(テレビ)ローハイド	(映画)つりばか日記シリーズ	→	→	(テレビ)グルメ番組
(テレビ)相撲中継	(映画)アクションもの	→	→	(テレビ)歴史番組
(ラジオ)オールナイトニッポン	(テレビ)格闘技	→	→	(テレビ)しくり先生
(ラジオ)深夜放送	(テレビ)イレブンPM	(テレビ)サスペンスドラマ	(映画)スパイ映画	
(映画)若大将シリーズ	(ラジオ)ジェットストリーム	(テレビ)救命病棟24時		
(映画)モスラ・キングコング	(映画)黒部の太陽	(テレビ)ドキュメンタリー番組		
(映画)三本立て映画	(映画)賣さんシリーズ	(映画)ゴジラ・SF		
(映画)時代劇・チャンバラ	(映画)日活・東映・渡哲也	宇宙戦艦ヤマト・銀河鉄道999		
(映画)青春もの	(映画)スターウォーズ	アニメ		
赤胴鈴之助	(映画)エデンの東			
	(映画)ステイプマックイーン			
	(映画)ハリウッドもの			
	(映画)ヨーロッパもの			
	(映画)スペクタクル			



1. 『音楽』で迎える楽しみ時層

① 男性

次世代シニア・男性

10代	20・30代	40・50代
サザン・オールスターズ	→	→
松任谷由実(ユーミン)	→	→
中森明菜	→	→
ザ・ビートルズ	→	→
ジャズ	→	→
松田聖子	→	→
キッス	→	→
フォークソング	→	→
ロック	→	→
ディスコ音楽	→	→
キャンディーズ	→	→
アイアンメイデン	→	→
井上陽水	ニューミュージック	→
かぐや姫	和製ポップス	→
東京都交響楽団	クラシック	→
オフコース	AOR	森山直太朗
ピンクレディ	おにやんこクラブ	EXILE
南沙織・小柳ルミ子・天地真理	歌謡曲	中山美穂・柏原芳恵
中三トリオ	イージーリスニング	ZARD
サイモン&ガーファンクル	ポピーゴールドウェル	K-POP 少女時代
カーペンターズ	ジョージデューク	エンヤ
アバ	ポップス	エレクロナルジャズ
クイーン	アメリカンポップス	20代の頃聴いた音楽を懐かしく
アイドル(歌謡)	演歌	
Jポップ		
フュージョン		
ソウルミュージック		



現在形シニア・男性

10代	20・30代	40・50代	60・70代
クラシック	→	→	→
洋楽	→	→	
ジャズ	→	→	
フォークソング	→	→	
ビートルズ	→	→	
ギター(クラシック・フラメンコ)	→	→	
演歌	→	→	→
流行歌	歌謡曲	→	→
Jポップ	ムード歌謡	ジュディオン	オペラ
グループサウンズ	軽音楽		ワールドミュージック
ポップス	ポピュラー音楽		YOUTUBEで昔の曲を聴く
ロック	ベンチャーズ		
三橋美智也	エルビスプレスリー		
美空ひばり			

「次世代シニア・男性」は「10代」の頃より多様な音楽に触れ、ロック、ポップス、ジャズ、アイドル歌謡など『選択肢も多様』です。そして「現在形シニア」と比較したとき特徴的なのは、ジャンル名よりもアーティスト名の想起が多くみられることです。音楽の聴き方は、『ジャンルに縛られず好みに合うもの』を聴く傾向をうかがわせます。そういえば、70年代初頭にロックは英語で歌うべきか否かの「日本語ロック論争」というものがありました。こうした「ジャンルへのこだわり」は「現在形シニア」の感性と相通じるものであったのかも知れません。

もうひとつ「次世代シニア・男性」を特徴付けているのは「サザンオールスターズ(1978年デビュー)」と「松任谷由実(1972年デビュー)」の存在です。両者は時代と世代を越えた支持を集めていますが、その端緒ともなったのは「10代」だった「次世代シニア」の支持でした(+現在60代前半世代)。その音楽の世界観、都会的感性、明るさといったものは、当時若者だった彼らの『柔らかな感性で私生活を楽しむライフスタイル』と一体のものだったと思えます。

面白いのは「40代・50代」に『「10代」の頃好きだったものをまた好きになる』という好みの復活劇です。次世代シニアは「キャンディーズ(1972年~1978年)」に代表されるアイドル歌謡、現在形シニアでは「演歌・流行歌」と内容は違いますが、世代を越えた傾向です。

そして「ビートルズ(1962年~1971年)」は現在形シニアと次世代シニアが「好み」を共にする存在。両世代が同じ場で楽しみを分かち合うとしたらBGMとしても最適ではないでしょうか。音楽は娯楽であるとともに『人と人をつなぐ生活の道具』でもあるのですから。



②女性

次世代シニア・女性

10代	20・30代	40・50代
サザン・オールスターズ	→	→
ジャニーズ(系アイドル)	→	→
ザ・ビートルズ	→	→
松任谷由実(ユーミン)	→	
中島みゆき	→	
中森明菜	→	
松田聖子	→	
チェッカーズ	→	
オフコース	→	
ツイスト	→	
山口百恵	→	
フォークソング	→	
歌謡曲	→	
チューリップ	SMAP	→
アリス	マイケルジャクソン	→
さだまさし	山下達郎	浜崎あゆみ
かぐや姫(風)	大瀧詠一	ドリムカムトゥルー
Lazy	浜田省吾	嵐
ロックンロール・矢沢永吉	森山良子	福山雅治
新・御三家	ディスコ	ミスターチルドレン
たのきんトリオ	ブルーノート	ポルノグラフィティ
フォーリーブス		ゆず
アイドル		尾崎豊
グループサウンズ		森山直太郎
ベイシティローラーズ		ヒルクライム
クイーン		シド
ビリージョエル		コールドプレイ
キッス		ワンダイレクション
エルビスプレスリー		エンヤ
舟木一夫		K-POP
		クラシック



現在形シニア・女性

10代	20・30代	40・50代	60・70代
グループサウンズ	→		
フォークソング	→		
ビートルズ	→		
エルビスプレスリー	→		
ウエスタンカーニバル	→		
アイドル歌手	→		
舟木一夫・西郷輝彦	→		
演歌	→	→	→
美空ひばり	→	→	→
クラシック	→	→	→
テンプターズ・スパイダース	歌謡曲	→	→
タイガース	モンキーズ	イーグルス	福山雅治
学生街の喫茶店	森山良子	島倉千代子・北島三郎	八代亜紀
上を向いて歩こう	吉田拓郎	(カラオケ)	
高校三年生・愛と死をみつめて	イルカ	(ライブ)	
アメリカンポップス	松任谷由実(ユーミン)		
軽音楽	山口百恵・天地真理		
ブギウギ	渡辺貞夫・日野皓正		
	ザ・ピーナッツ		
	ニューミュージック		
	日本民謡		
	ジャズ		
	カーペンターズ		
	ベニーグッドマン・グレンミラー		

「次世代シニア・女性」で特徴として第一に挙げられるのは「10代」から「40・50代」の現在まで好きだったものとして想起が続く「ジャニーズ(系アイドル)」です。ここで主なアイドルがデビューした年次と2018年に55歳となる人がその時に何歳だったかをみてみましょう。

1980年 近藤真彦・田原俊彦(17歳) 1985年 少年隊(22歳) 1991年 SMAP(28歳) 1995年 V6(32歳)
1999年 嵐(36歳) 2004年 関ジャニ∞(41歳) 2007年 Hey!Say!JUMP(44歳) 2011年 KisMyFt2(48歳)

「SMAP」「嵐」は具体名で出現しています。一流の音楽スタッフによる楽曲制作、アイドル歌手からは脱却した活動の効果もあり、彼らは驚くほど長期にわたり第一線で活躍しています。受容する側も例えば青春期、子育て期を経て「母娘でライブ」を楽しむようになるなど『人生の時期により受容することの意味が変化』しているはず。今後、アイドルを巡り、どんな「意味」が生れるかが楽しみなところです。

「現在形シニア」との対比では「40・50代」においてもJ-POP系を中心にいくつもの固有名詞が出現しています。「音楽」が生活に溶け込む度合いや興味が相対的に高いのかも知れません。



2. 『映画・番組・上演』で迎える楽しみ時層

① 男性

次世代シニア・男性

10代	20・30代	40・50代
(テレビ)お笑い番組	→	→
(テレビ)吉本新喜劇	→	→
(テレビ)オレたちひょうきん族	→	→
(テレビ)歌番組	→	→
(テレビ)ザ・ベストテン	→	→
(映画)スターウォーズ	→	→
(映画)寅さん	→	→
(ラジオ)オールナイトニッポン	(ラジオ)J-WAVE	→
(ラジオ)深夜放送	(テレビ)プロ野球・サッカー中継	→
(テレビ)8時だよ全員集合!	(テレビ)笑っていいとも	(テレビ)笑点
(テレビ)噂のチャンネル	(テレビ)さんまのまんま	(テレビ)エンタの神様
(テレビ)ゲバゲバ90分	(テレビ)三宅裕司のヤンバラ	(テレビ)ガキの使いやあらへん
(テレビ)太陽にほえろ!	(テレビ)オールナイトフジ	(テレビ)とんねるずの生ダラ
(テレビ)ふぞろいの林檎たち	(テレビ)タヤけニャンニャン	(テレビ)スーパーからくりTV
(テレビ)夜のヒットスタジオ	(テレビ)ギンザNOW	(テレビ)鉄腕DASH!!
巨人の星・空手バカ一代	(テレビ)トレンディドラマ	(テレビ)グルメ番組
(テレビ)青春学園ドラマ	(テレビ)木枯らし紋次郎	(テレビ)料理の鉄人
(テレビ)イレブンPM	(テレビ)バラエティ番組	(テレビ)自然紀行
(映画)ゴジラ・ガメラ	(映画)アメリカングラフィティ	(テレビ)健康番組
(映画)アメリカンニューシネマ	(映画)インディジョーンズ	(テレビ)日経プラス10
(映画)ジョーズ他パニック映画	(映画)バックトゥザフューチャー	(テレビ)冬のソナタ
(映画)ロッキー	(映画)サタディナイトフィーバー	(テレビ)韓国ドラマ
(映画)ブルースリーもの	(映画)SF・アクションもの	(テレビ)大河ドラマ・朝ドラ
(映画)マッドマックス	(映画)スペースオペラもの	(テレビ)NHKのど自慢
(映画)スーパーマン	(映画)青春の門	(映画)シンゴジラ
(映画)ロミオとジュリエット	(映画)日本映画黒澤・市川	(映画)君の名は
アニメ	(映画)小津安二郎もの	(映画)北野監督映画
	(映画)ヌーベルバーグ	(映画)ジュラシックパーク
	ドラゴンボール	(映画)キューブリックもの
		(映画)東アジアの映画
		(映画)ジブリもの・CGもの
		(映画)名作・時代劇
		(ラジオ)民放AM局
		ドラえもん



現在形シニア・男性

10代	20・30代	40・50代	60・70代
(テレビ)プロ野球・スポーツ中継	→	→	→
(テレビ)歌番組	→	→	→
(テレビ)大河ドラマ	→	→	→
(テレビ)プロレス中継	→	→	→
(映画)石原裕次郎もの	→	→	→
(映画)任侠もの	→	→	→
(映画)007シリーズ	→	→	→
(映画)西部劇(シェーン他)	→	→	→
(映画)日本映画・洋画	→	→	→
(テレビ)相撲中継	→	→	→
(映画)時代劇・チャンバラ	→	→	→
(テレビ)米国ドラマ	(テレビ)日本のドラマ	→	→
(テレビ)ローハイド	(映画)つりバカ日誌シリーズ	→	→
(テレビ)相撲中継	(映画)アクションもの	→	→
(ラジオ)オールナイトニッポン	(テレビ)格闘技	→	→
(ラジオ)深夜放送	(テレビ)イレブンPM	(テレビ)ゴルフ・競馬中継	→
(映画)若大将シリーズ	(ラジオ)ジェットストリーム	(テレビ)笑点	→
(映画)モスラ・キングコング	(映画)黒部の太陽	(テレビ)相棒	→
(映画)三本立て映画	(映画)寅さんシリーズ	(ラジオ)大沢悠里のゆうゆうワイド	→
(映画)時代劇・チャンバラ	(映画)日活・東映・渡哲也	(テレビ)科捜研の女	(テレビ)朝ドラ
(映画)青春もの	(映画)スターウォーズ	(テレビ)はぐれ刑事	(テレビ)ドクターX
赤胴鈴之助	(映画)エデンの東	(テレビ)サスペンスドラマ	(テレビ)韓国ドラマ
	(映画)ステューブマックイーン	(テレビ)救命病棟24時	(テレビ)グルメ番組
	(映画)ハリウッドもの	(テレビ)ドキュメンタリー番組	(テレビ)歴史番組
	(映画)ヨーロッパもの	(映画)ゴジラ・SF	(テレビ)しくじり先生
	(映画)スペクタクル	宇宙戦艦ヤマト・銀河鉄道999	(映画)スパイ映画
		アニメ	

「次世代シニア・男性」がその歩みと共に好んできたものとして特徴的なのはテレビのお笑い番組です。中でも「オレたちひょうきん族(1981~1989年フジテレビ系列で放送)」は多くの方が「10代」から「20・30代」の頃に好きだった番組として想起しています。80年代には様々なサブカルチャーが開花するのと同期するように新たな感覚の笑いが溢れていました。「この新しい笑いがわかる」といった『仲間意識』も受容の要素でした。以降「お笑い」はエンタメの中心であり続けます。現在形シニアでまず気づくのは「野球・スポーツ中継番組」の根強さ、そして前項の「音楽」より記述が多いことです。10代の映画全盛時代を体験した世代でもあり、それが今の「ドラマ」視聴習慣を形成したのかもしれない。

②女性

次世代シニア・女性

10代	20・30代	40・50代
(舞台)宝塚歌劇団	→	→
(テレビ)夜のヒットスタジオ	→	
(テレビ)歌・音楽番組	→	
(テレビ)エースを狙え	→	
(テレビ)ザ・ベストテン	(映画)ハリーポッター	→
(テレビ)向田邦子ドラマ	(テレビ)山田太一ドラマ	(テレビ)あまちゃん
(テレビ)山口百恵赤いシリーズ	(テレビ)ひとつ屋根の下	(テレビ)大河ドラマ・朝ドラ
(テレビ)クイズダービー	(テレビ)東京ラブストーリー	(テレビ)ヒーロー
(テレビ)オールナイトフジ	(テレビ)愛しているといってくれ	(テレビ)JIN
(テレビ)8時だよ全員集合!	(テレビ)ふぞろいの林檎たち	(テレビ)相棒
(テレビ)オレたちひょうきん族	(テレビ)トレンディドラマ	(テレビ)ER緊急救命室
(テレビ)笑点	(テレビ)恋愛ドラマ	(テレビ)NHKあさイチ
(テレビ)ヤングオーオー	(テレビ)海外ドラマ	(テレビ)さんま御殿
(テレビ)スター誕生	(テレビ)おかあさんといっしょ	(テレビ)世界の果てまでいってQ
(テレビ)ラブラブショー	(テレビ)子供向け教育テレビ	(テレビ)YOUはなにしにニッポンへ
(テレビ)お笑い番組	(テレビ)あんぱんまん	(テレビ)WOWOW洋画
(ラジオ)オールナイトニッポン	(テレビ)セーラーMoon	(テレビ)料理番組
(ラジオ)不二家ベストテン	(テレビ)仮面ライダー 戦隊もの	(テレビ)通販番組
(ラジオ)深夜放送・セイヤング	(映画)ジブリもの	(テレビ)ニュース・ドキュメント
(ラジオ)ヤングタウン	(映画)ディズニー	(テレビ)フィギュアスケート
(ラジオ)ジェットストリーム	(映画)山口百恵映画	(テレビ)アメトーク
(映画)犬神家の一族角川映画	(映画)愛と青春の旅立ち	(テレビ)ワイドショー
(映画)小さな恋のメロディ	(映画)タイタニック	(テレビ)冬のソナタ
(映画)ある愛の詩	(映画)スターウォーズ	(テレビ)韓国ドラマ
(映画)ボセイデンアドベンチャー	(映画)インディジョーンズ	(ラジオ)FM東京
(映画)ET	(映画)ロッキー	(ラジオ)TBSラジオ
(映画)トップガン	(映画)グリース	(ラジオ)ニッポン放送
(映画)エクソシスト	(映画)風と共に去りぬ	(ラジオ)ラジオ深夜便
アニメ	(映画)ローマの休日	(映画)ロクヨン
	(舞台)ミュージカル	(映画)後妻業
		(映画)DVD邦画・洋画
		(舞台)ライオンキング



現在形シニア・女性

10代	20・30代	40・50代	60・70代
(舞台)ミュージカル	→	→	→
(舞台)宝塚歌劇団	→	→	→
(テレビ)歌・音楽番組	→	→	→
(舞台)歌舞伎	→	→	→
(映画)風と共に去りぬ	→	→	→
(映画)洋画	→	→	→
時代劇	→	→	→
(テレビ)パパは何でも知っている	(テレビ)大河ドラマ	→	
(テレビ)ララミー劇場	(テレビ)太陽にほえろ	(テレビ)サスペンスドラマ	→
(テレビ)米国ホームドラマ	(テレビ)野生の王国	(テレビ)韓国ドラマ	→
(テレビ)日本のホームドラマ	(テレビ)8時だよ全員集合!	(テレビ)趣味の園芸	→
(テレビ)事件もの サスペンス	(テレビ)イレブンPM	(テレビ)テレビで中国語	→
(テレビ)プロレス中継	(テレビ)NHK今日の料理	(テレビ)プロ野球中継	(テレビ)朝ドラ
(テレビ)芸能人かくし芸大会	(テレビ)ガッチャマン	(テレビ)必殺仕事人	(テレビ)北の国から
(テレビ)シャボン玉ホリデー	(ラジオ)吉田照美テルワイド*	(テレビ)クイズ番組	(テレビ)相棒
(ラジオ)深夜放送	(映画)東映映画	(テレビ)ホームドラマ	(テレビ)YOUは何しにニッポンへ
(ラジオ)連続ラジオ番組	(映画)メリーポピンズ	(テレビ)洋画番組	(テレビ)サンデーモーニング
(映画)若大将シリーズ	(映画)ローマの休日	(テレビ)なんでも鑑定団	(テレビ)ぶらり途中下車の旅
(映画)ゴジラ	(映画)グレートレース	(ラジオ)ジェットストリーム	(テレビ)鉄腕DASH
(映画)日活映画(裕次郎)	(映画)ドラえもんシリーズ	(映画)シャルウイダンス	(テレビ)毎日が発見
(映画)ウエストサイドストーリー	オペラ鑑賞	(映画)007シリーズ	(テレビ)さわやか自然百景
(映画)西部開拓史	紅テント芝居	(映画)ハリーポッター	(テレビ)和風絵本家
(映画)西部劇	(テレビ)(アポロ月面着陸)*	(映画)エクソシスト・オーメン	(テレビ)中国歴史ドラマ
(映画)戦争と平和	(テレビ)(浅間山荘事件)*	ポリシヨイパレー	(テレビ)料理番組
日劇・浅草国際・コマ・芸術座	(テレビ)(三億円事件)*	演劇鑑賞	(テレビ)旅行番組
映画鑑賞	*TVで強い印象を残したものと 記入したと思われるがそのまま記載	落語鑑賞	(テレビ)クイズ番組
			(ラジオ)大沢悠里のゆうゆうワイド
			(映画)フィレンツェメディチ家
			(映画)マイインターン
			(舞台)寄席
			落語鑑賞

世代を問わず女性で注目すべきは「宝塚歌劇団（1913年設立・阪急電鉄の一部門）」「ミュージカル」の存在です。若い頃から今日に至るまで記述が出現しています。華やかな舞台の感動に触れ、一生の楽しみを手に入れた女性たちも多く存在しそうです。次世代シニアの特徴としては「10代」でラジオ番組名が深夜放送に限らずいくつも想起されていることが挙げられます。そして「20・30代」になると恋愛を描いた「トレンディドラマ」、子育てしながら楽しんだ「子供向け番組」などライフステージが反映された楽しみが多く想起されています。「40・50代」ではDVDやBS放送などを通じて国内外、過去から現在に至る映画・ドラマを観るようになります。10代の頃に好んだ「ラジオ」の楽しみも一部で復活しています。



■結びに

<1>時層確認の勧め

ここまで「エンターテインメント」分野での「楽しかったこと、好きだったこと、夢中になったこととして想起された事柄」を世代ごとに集約し、年齢区分ごとにみることで「時層」を確認してまいりました。

お読みいただいているあなたも、ご自身の個人史として「時層」を確認してみたいはいかがでしょうか。そのための支援ツールとして次ページより、以下の「付録」を用意いたしました。ぜひご活用下さい。

- ①「楽しかったこと、好きだったこと、夢中になったこと」記入シート
- ②「年齢、世相確認年表と楽しかった出来事」記入シート

<2>時層確認は何のため？

①楽しむに勝るものなし

「子曰く、これを知る者はこれを好む者に如(し)かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如(し)かず」孔子の『論語』(岩波文庫)にある言葉です。「ある事を知っている人も、それを好きな人にはかなわないし、ある事を好きな人も、それを楽しんでいる人にはかなわない」といった意味です。

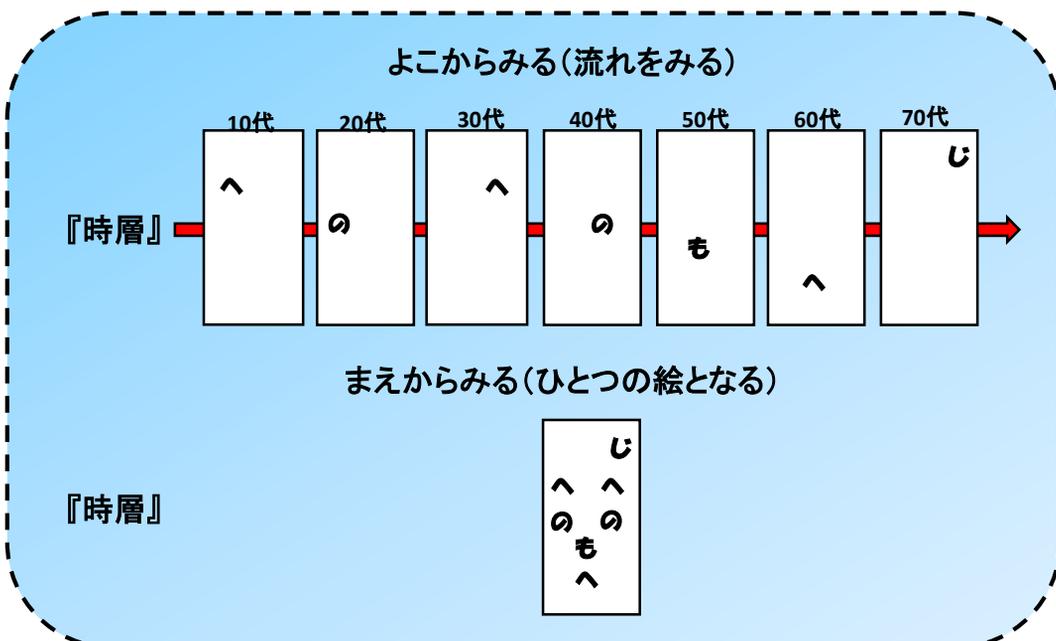
そして「何を楽しむか」は人生の後半戦を充実させる上で重要なテーマのひとつでもあります。

②過去に楽しんだもの、好きだったものを今、新たに楽しむ

若い頃に読んだ本を読み返してみたら新たな感動が得られた、ということがあります。変わらぬ感動もあれば、人生を積み重ねて初めてわかることもあります。映画やドラマ、歌、音楽などのエンタメ分野も同様です。当時は気付かなかったこととの出会いはきっとあるはず。つまり過去に楽しんだものに触れることは、単に振り返る行為ではなく、人生の新たな発見を得る行為なのです。

③時を積み重ねてきたことで形作られた今の自分に出会える

時層を振り返ることで今の自分を確認するきっかけを得ることはできないでしょうか。下の図はその概念図です。「文字」のひとつひとつは「好きだったこと」と思ってください。年表のように年代を追うことで「時の流れ」がわかります。白い四角が透明のアクリル板だと想像して下さい。これを重ねていき、前から見るとひとつの絵になります。これが積み重ねてきた楽しみでできた「今の自分の肖像」。最後までお読みいただき誠にありがとうございました。



【付録①】「楽しかったこと・好きだったこと・夢中になったこと」をお書き下さい。

【別紙】

--	--	--

◎ あなたの人生を振り返って、下にあげた5つのジャンルについて「楽しかったこと・好きだったこと・夢中になったこと」を自由にお答えください。

(注1) なるべく短い文章や単語で簡潔にご記入ください。

(注2) 全ての欄をうめる必要はありません。印象的なことだけをその印象的だったジャンルの年代の欄にご記入いただければ結構です。

(注3) ご記入いただいたこの用紙は、別途お渡した「日常生活や今後の生活に関するアンケート」と一緒に係りの書にお渡しください。

《ジャンル》	《年代》	10代の頃	20代～30代の頃	40代～50代の頃	60代～70代の頃
ファッションブランド スタイル					
エンターテインメント 音楽、芸能、映画 テレビ番組、ラジオ番組 雑誌、他					
趣味、娯楽 スポーツ、旅行					
食べ物、飲み物 食事、飲食店					
街、ショップ、施設					



『次世代シニア、楽しみの時層』 第一回 エンタメで巡る楽しみの時層

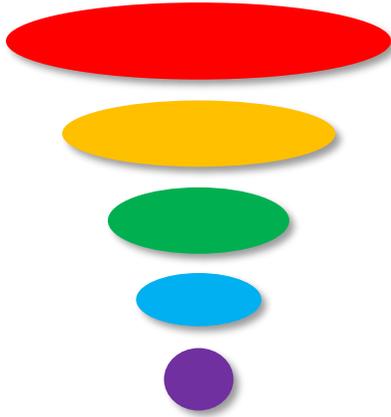
【付録②】左の「自分欄」にあなたの年齢を、右の欄に楽しかった出来事をお書き下さい。

●生活の時代背景・出来事年表●

年齢	記入例	自分年齢記入欄	世代	社会・経済・流行・新商品など	自分史記入欄	
1936年			戦前	昭和 2.26事件 ベルリン(ナチ)五輪 風たちぬ(堀辰雄)	阿部定事件に世間驚愕	
1937		焼け跡		盧溝橋事件 南京占領	雲宮(川島康成)	海ゆけば(国民唱歌)
1938				国家総動員法公布	愛染かつら大ヒット	映画モダンタイムス
1939				第2次大戦勃発	白米禁止令公布	旅装三人男(ディックミネ)
1940			戦中	大政翼賛会	カタカナ語禁止 八紘一宇	誰が故郷を想わざる(霧島昇)
1941				真珠湾攻撃太平洋戦争	言論統制強化	香雪閣ショー大行列
1942				翼賛選挙 ミッドウエー暗号解読大敗	敗北知られず国民祝勝ムード	国策戦争映画
1943				学徒出陣	ジャズ散性音楽で禁止	映画無法松の一生
1944			戦後	東条内閣総辞職	学童疎開 鬼畜米英	ラバウル海軍航空隊(灰田勝彦)
1945				原爆投下 敗戦	玉音放送 リンゴの唄(並木路子)	GHQによる占領開始
1946				昭和天皇人間宣言 日本国憲法公布	米国家急援助物資	公務員大卒初任給540円
1947	0歳			6・3制開始 憲法施行	斜陽族 集団見合	東京アギウキ(笠置シズ子)
1948			団塊の世代	帝銀事件 イスラエル建国	エリザベスサンダースホーム	映画酔いどれ天使
1949				湯川秀樹ノーベル賞	下山国鉄総裁職事件	青い山脈(藤山一郎)
1950				朝鮮戦争 警察予備軍	レドパージ本格化	東京キッド(美空ひばり)
1951				サンフランシスコ講和条約	パンチンゴーム	社用旗 GIカット
1952			ポスト団塊	五輪復帰	映画第三の男・風と共に去りぬ	君の名は
1953				NHK本放送	三種の神器普及 銭使用最後	真知子巻き ジェスチャー
1954				ビニニ環礁水爆実験	映画七人の侍 ジョ公朗	街頭テレビ 力進山プロレス
1955				55年体開	トランジスタラジオ	ケンチャール
1956			バブル	高度成長突入	政府「もはや戦後ではない」	太陽族 深夜喫茶 神武景気
1957	10歳			レスポントニク打上成功	アイルブルーシー	ロッテグリーンガム
1958				東京タワー完成 若戸景気	長嶋茂雄デビュー	日清キリンラーメン
1959				皇太子ご成婚	おかあさんといっしょ	第1回日本レコード大賞
1960			新人類	池田内閣所得倍増計画の閣議決定	60年安復	プレスリ映画復帰
1961				ソ連ガガーリン宇宙飛行	国民皆保険実現 長寿大国へ	上を向いて歩こう(坂本九)
1962				キューバ危機	世界最大タンカー一日丸	リビタンD
1963				ケネディ暗殺 吉原ちゃん事件	続続アトム テレビ放送開始	好景気「流通革命」叫ばれる
1964			バブル	東京オリンピック 東海道新幹線開通	ひょっこりひょうたん島	みゆき族 平凡パンチ創刊
1965				いざなぎ景気	エレキギター モンキーダンス	11PM 映画園巡り外地
1966				日本総人口1億人 ビートルズ来日	中国文化大革命 新三種の神器3C	ウルトラマン サンダーバード
1967	20歳			成田開港 公害 グループサウンズ	ミスカット アンガラ	フーテン ヒッピー マイカー族
1968			団塊ジュニア	大学紛争 3億内事件	世界各地で若者異議申し立て	昭和元禄 恋の季節(ピンク)
1969				アポロ月着陸	GNP世界2位 エコノミックアーマル	男はつらいよ ウッドストック
1970				大阪万博開催 一億総中流社会	モーテルからビュティフルへ	anan創刊 ディスカバーちゃん
1971				ドルショック 大久保清事件	マクナルド開店 カップヌードル発売	アンソング 脱サラ ボウリング
1972			団塊ジュニア	あさま山荘事件 沖鋒隊選	太陽にほらろ 日本列島改造論	映画コッドファーザー
1973				ベトナム和平 ウォーターゲート事件	石油危機による狂乱物価	セブンイレブン開店 神田川 心の旅
1974				元日本兵発見 戦後初マイナス成長	井上陽水の世界ヒット 映画砂の器	寺内萬太郎一家 オカルト
1975				沖縄海洋博 第1回世界女性会議	団塊世代親になりぬるの安定を目指す	年下の男子 我が良き友よ
1976			さとり世代	ロッキード事件田中角栄逮捕	映画大神家の一族	限りなく透明に近いブルー
1977	30歳			円高不況 企業倒産過去最高	大卒男子平均初任給10万突破	カラオケが盛り場に登場
1978				成田開港 日中平和友好条約	サザンオールスターズ 竹の子族	スターウォーズ 不毛地帯
1979				共通一試験開始 ライオン革命	ジャパンアズナンバーワン	金八先生 インペーダーゲーム
1980			さとり世代	家庭内暴力 レンパ射撃 アフガ/侵攻	自動車生産台数千万台で世界一	漫オブーム とびだす一冊創刊
1981				スペースシャトル 残響孤児来日	ダイナマ紀誕生 歌謡曲全盛	オレたちひょうきん族 北の国から
1982	20歳			ホルンニュージャバ火災	NECからPC9801 パソコン時代	テレホンカード ガンブラ ガンダム
1983				東京ディズニーランド開園	NHKおじん60%超視聴率	オールナイトフジ 金曜日の妻たちへ
1984			さとり世代	ロス疑惑 グリコ水害事件	マイケルジャクソン マルマルムビ	浅田彰「構造と力」DCブランド
1985				プラザ合意 森田長富	円高不況低金利政策 イッキ	映画バツグンファミリー
1986				チェルノブイリ原発爆発事故	男女雇用機会均等法	専業主婦で留守がいい金鳥
1987	40歳			バブル経済 JR民営化 ドライブレコーダー	外資債権世界一 DINKS	リルウエーの森(村上春樹)
1988			平成	リクルート事件 ふるさと創生	リクルートイドラマ ドライブ戦争	キッチン(吉本ばなな)
1989				昭和天皇崩御 平成に改元	天安門事件 ベルリンの壁崩壊	美空ひばり手塚治虫死去 セクハラ
1990				ソ連ペレストロイカ バブル終焉の予感	前年未平均株価最高値	ちびまる子ちゃん 成田離婚
1991				湾岸戦争 ソ連消滅	ジュリアン東京オープン	東京ラブストーリー 若貴人気
1992	30歳		平成	株価急落 地価下落	もつ鍋ブーム ツインピークス	ほめ殺し カード破産
1993				細川連立内閣誕生	若者リベラル普及 リーグが発足	睡外国人初横綱 清貧の思想
1994				連立村山内閣誕生 いじめ社会問題	記録的猛暑 そうだ京都行こう	恋は遠い日の花火ではない
1995				阪神淡路大震災 オウム事件	生産年齢人口ピーク以後減少	野茂英雄大リーグへ
1996			平成	携帯エイス フラタラ五輪	携帯電話PHS普及加速	ルーズソックス ガングロ コギャル
1997	50歳			金融破綻山一自主廃業	世界同時株安 酒鬼薔薇聖斗	踊る大捜査線 ポケモン
1998				長野冬季五輪 毒物カレー事件	就職氷河期 マイナス成長23年振	100円ショップ 夜空のムウ
1999				EUがユーロ導入 ストーカー殺人	学級崩壊 だんご3兄弟	トモモード バイアグラ リアップ
2000			平成	介護保険制度施行 印習食中毒	IT革命 キレリ17歳社会問題化	アロゼクX ハットホラー賢者の石
2001				小泉純一郎内閣 9.11同時多発テロ	青木たけの 方針 iPOD発売	千と千尋の神隠し USJ開業
2002	40歳			ゆとり教育 拉致被害者帰国	インターネットが市民権 掲示板台頭	日韓共催W杯
2003				イラク戦争	個人情報保護法成立	地デジ放送開始 六本木ビルズ
2004			平成	中越地震 イラク問題 アテネ五輪	振込ひびく詐欺被害拡大	二ト52万人 セカチュー 韓流
2005				郵政選挙 耐震偽装 福知山線脱線	日本総人口減少	ケーナ環境活動家のMOTAINAI
2006				ライブドア事件 WBC日本優勝	阿倍晋三初戦後生まれ宰相	Wii 格差社会 勝ち組負け組
2007	60歳			消えた年金記録問題 超高齢社会へ	原材料表示など食品偽装発覚	団塊世代定年を迎える
2008			平成	リーマンショック 脱ゆとり教育公示	リーマンショック 脱ゆとり教育公示	iPhone発売 北米オリンピック
2009				オバマ政権 民主党政権	派遣切りなどで年越し派遣村	キンプリ ファミマロール
2010				尖閣諸島沖巡視船衝突	AKB48へビローテーション	もしドラ 女子会 イクメン
2011				東日本大震災 福島第1原発事故	自民ムード ドラゴンア復讐復活	EXILE レディガガ 家政婦のミタ
2012	50歳		平成	第二次安倍内閣発足 スカイライン	ロンドン五輪 つげまっける	キンドル 終活 iPS細胞
2013				特別秘密保護法 高齢者雇用安定法	アベノミクス おてもなし	あまちゃん 半沢直樹 今でよ
2014				集団的自衛権行使容認	御座山噴火 青色LEDノーベル賞	永遠00 STANDBYME!ラえもん
2015				ISIL(イスラム国)日本人殺害	インバウンド 国内市場活性化	ラブライブW杯で日本が南ア樹す
2016			平成	マイナンバー制度 熊本地震	国勢調査で初の人口減少	電力自由化 18歳以上に選挙権
2017	70歳	55歳		衆院選で自民再勝 立憲民主党躍進	天皇即位特例法成立	米国内閣選挙権 ビットコイン
2018	71歳	56歳				
2019						
				5月改元(平成から令和へ)		

参考文献:「時代」ともに振り返る自分史(1) (幻冬舎)・思い出ノート(RinPal Ink)・年代流行 他





Copyright©2018 Research Institute for High-Life

次回をお楽しみに。

公益財団法人ハイライフ研究所